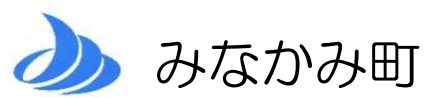


トンネル点検結果一覧



平成31年3月末時点

1. トンネル定期点検の背景

近年、高度成長期に建設された道路構造物が高齢化・老朽化する中であって、平成24年12月の中央自動車道笹子トンネル天井板崩落事故を機に、本格的なメンテナンス体制の構築が叫ばれ道路管理者に対して点検が義務化されました。

みなかみ町では道路法施行規則第4条の5の6の規定に基づいて町が管理するトンネルの定期点検を実施しています。

2. 定期点検の目的

定期点検は、橋梁やトンネル等の道路施設の各部材の状態を把握・診断し、当該施設に必要な措置を特定するために必要な情報を得るためのものであり、安全で円滑な交通の確保や第三者への被害防止等を図るため、道路施設に係る維持管理を適切に行う必要な情報を得ることを目的としています。

3. 定期点検における技術的基準

定期点検は、近接目視により、5年に1回の頻度で行うこととされており、その結果については、構造物単位に次の表に掲げる統一的な尺度に基づき、その健全性を診断することとされています。

判定	区分	状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずるべき状態

■ トンネル点検結果

2019年3月末時点

No.	トンネル名	路線名	所在地	完成年次	延長(m)	点検年次	健全性	トンネル本体内						附属物の 取付状態 異常箇所	代表的な異常箇所等	対策年次
								材質劣化		漏水		外力				
1	奈良俣隧道	町道奈良俣1号線	みなかみ町藤原字洗の沢	1986	396.5	2018	Ⅲ	Ⅱ	28箇所	Ⅱ	7箇所	Ⅱ	3スパン	0箇所	【覆工】コンクリートはく離・鋼材腐食(材質劣化) 【路面】段差	
								Ⅲ	7箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅲ	0スパン			
								Ⅳ	0箇所	Ⅳ	0箇所	Ⅳ	0スパン			
2	藤原トンネル	町道栗沢西線	みなかみ町藤原字中沢	1981	343.0	2018	Ⅲ	Ⅱ	19箇所	Ⅱ	33箇所	Ⅱ	1スパン	8箇所	【覆工】コンクリートはく離・鋼材腐食(材質劣化)、滴水(漏水) 【附属物】腐食(照明)、取付金具欠損(ケーブル類)	2017
								Ⅲ	1箇所	Ⅲ	1箇所	Ⅲ	0スパン			
								Ⅳ	0箇所	Ⅳ	0箇所	Ⅳ	0スパン			
3	湯ノ小屋隧道	町道奈良俣1号線	みなかみ町藤原字洗の沢	不明	186.8	2018	Ⅲ	Ⅱ	38箇所	Ⅱ	53箇所	Ⅱ	3スパン	2箇所	【覆工】コンクリートはく離・鋼材腐食(材質劣化)	
								Ⅲ	4箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅲ	0スパン			
								Ⅳ	0箇所	Ⅳ	0箇所	Ⅳ	0スパン			
4	中郷隧道	町道大滝沢一畝田線	みなかみ町藤原字師入	1992	64.0	2018	Ⅱ	Ⅱ	1箇所	Ⅱ	0箇所	Ⅱ	0スパン	0箇所	【覆工】豆板(材質劣化)	
								Ⅲ	0箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅲ	0スパン			
								Ⅳ	0箇所	Ⅳ	0箇所	Ⅳ	0スパン			
5	宝川隧道	町道宝川線	みなかみ町藤原字宝川	1960	50.8	2018	Ⅳ	Ⅱ	0箇所	Ⅱ	10箇所	Ⅱ	0スパン	0箇所	【坑門】吹付モルタルはく離(材質劣化) 【覆工】吹付モルタルはく離(材質劣化)、滴水(漏水) ⇒ 通行止め措置	
								Ⅲ	0箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅲ	0スパン			
								Ⅳ	17箇所	Ⅳ	0箇所	Ⅳ	0スパン			